



- また、ナースステーションにある医療資源も、コーディネーターが意図的に取り枯渇させる。資源の有限性に気づいてもらうようにする。

→人的資源、医療資源が不足した時には、スタッフがこうした方がいいのですよと教えるのではなく、学生自らが他の病棟から人的資源であれ、医療資源であれ借りてくることに気づかせる。

- ICU 病棟への患者移送はストレッチャー（布）で2名の付き添いで行う。1名は必ず医師である事が必要。



- パンデミックが進むと、病棟だけでなく ICU 病棟も満床になる。医療チームは、ICU 病棟の医師と患者の病態について交渉し、ICU でなければ治療できないのか、まだ病棟で治療することが可能なのか話し合う。



- パンデミックが進むと、ICU も満床になる。ICU の医師と交渉しないと、患者の行き先がなくなる。ICU 病棟担当者は、ICU 病棟の状況において、患者が病棟に戻るのか、それとも亡くなったのかを判断し、患者の数をコントロールする。
- ICU は 15 床で満床として、それ以上は受け付けないようにする。ICU は独立した病棟ではなく、スタッフの 1 人が管理する。

演習の終了

- 2回目のドリル後、学生をデブリーフィングの為オープンスペースに座らせる。
- 椅子の下に飲料水が置いてあることを伝える。
- 2回演習を行って、気づいたこと、大事だと感じたこと、大切だと思うキーワード等について意見を述べてもらう。それらに対して、スタッフが適切なコメントで答えることによって、参加者の学習体験が強化させるはずである。例えば、チーム医療に着いてや、コミュニケーションの価値について、医師不足など医療資源の有限性について、近年、日本の病院では平均在院日数が短くなっている事など、本ドリルから学べることは数多くある。スタッフとのやり取りによって、パンデミックドリルから学んで欲しい内容、医療現場の状況、日本の医療状況や医療制度等について話をする。



- 必要であれば、各スタッフにも端的に感想を述べてもらう。



- 最後に全体のクロージングを行い、アンケート用紙等を配る。
- 帰りに、サージカルマスクやガウン、役割カードを回収して演習を終了する。
- 練習の経験から、死亡フラッグが入った患者は、演習者に無視される傾向にある。本来であれば霊安室に運ぶ必要があるが、優先順位的にそのままにしておくのと、またそのままにしておくほうが新入院患者を受け入れずに済み、医療チームにとっては楽が出来るためと思われる。デブリーフィングの論点としては面白いと思われる



最後は、汗を流しながら真剣にドリルを実施した参加者をたたえる意味で、スタッフ全員で拍手をして終わると気持ちがよい。

5. ドリルの資料

- A) 役割カード（可能な行為一覧）とアクションフラッグ
（実際に演習で使用されたもので、それぞれの頁ごとに印刷が可能になっている）

A) 役割カード（可能な行為一覧）とアクションフラッグ

可能な行為一覧			
	医師	看護師	看護助手
医師の診察	●		
発熱・咳	●	●	
食事・水分		●	●
入浴		●	●
嘔吐・下痢	●	●	●
点滴	●	●	
呼吸苦	●	●	
酸素	●	●	
ICU病棟 (診察)	●		
退院(診察)	●		
死亡(診察)	●		
患者移送 注)	●	●	●

注)

①ICU病棟、退院、死亡のフラッグがある時は、必ずその診察をした後に、各場所に患者移送する事。

②ICU病棟への患者移送はストレッチャーに乗せて2名で行う。2名のうち1名は医師である事が必要。

③退院と死亡の患者移送は1名で行うことができ、どの職種が行っても良い。ストレッチャーに乗せる必要はない。

呼 吸 苦

酸 素

死

亡

発熱・咳

医師の診察

食事・水分

入浴

嘔吐・下痢

点 滴

ICU 病棟

退 院

(資料3)

感染防御技術プログラムの概要

藤田昌久

秋山健一

感染防御技術実施計画案

1. 日時：平成 22 年 1 月 15 日（金）、18 日（月）
2. 会場：橘桜会館 3 階ホール
3. 講師：藤田昌久（付属病院 医療安全管理部 感染制御室 看護師長）
他 4 名（技術演習インストラクター）
4. 対象：医学部 年生 50 名×2
5. 目的
研究目的、必要性の内容に準拠した、医学生を対象とした基本的な感染防止技術に関する知識と技術の理解を深め、演習を通して具体的な感染防止技術を経験、体得する。
6. 実施目標
 - 1) 講義
 - ①医療機関における感染防止対策の必要性が理解できる
 - ②具体的な感染防止対策の内容と必要性が理解できる
 - ③場面に応じた必要な対策が理解できる
 - 2) 演習
 - ①指導のもと手指衛生（手洗い・手指消毒）の正しい手順と方法が実施できる
 - ②指導のもと PPE（personal protective equipment）の正しい着脱が実施できる
7. タイムスケジュール
 - 1) 講義：45 分

導入	5 分
医療施設における感染防止対策の必要性	5 分
標準予防策とその内容（各対策の解説）	20 分
標準予防策の効果とその根拠（実施方法の解説を含む）	
経路別予防策とその内容（各対策及び実施手順の解説を含む）	15 分

2) 技術演習（手指衛生、PPE の着脱）：45 分

導入（手順説明）	藤田	5 分
手指消毒の正しい手順と方法	Instructor+藤田	10 分
石けんと流水による手洗いの正しい手順と方法	Instructor+藤田	15 分
PPE の正しい着脱方法	Instructor+藤田	10 分
片付け、移動準備	全員	5 分

8. 講義・演習評価表（感染防御技術）

感染防御技術への参加、お疲れさまでした。

本講義・演習に関して実施側の評価を行うに当たり、皆様のご意見を頂きたいと思っておりますので、ご協力をお願い致します。

各質問に5段階（1：悪いまたはできなかった ⇒ 5：良いまたはできた）の評価で当てはまる番号の□に✓でご回答ください。

【講義】

1. 医療施設における感染防止対策の必要性が理解できましたか。
1□できなかった 2□あまりできなかった 3□どちらでもない
4□できた 5□よくできた
2. 標準予防策の意味とその内容が理解できましたか
1□できなかった 2□あまりできなかった 3□どちらでもない
4□できた 5□よくできた
3. 標準予防策の実施方法が理解できましたか
1□できなかった 2□あまりできなかった 3□どちらでもない
4□できた 5□よくできた
4. 経路別予防策とその内容が理解できましたか
1□できなかった 2□あまりできなかった 3□どちらでもない
4□できた 5□よくできた

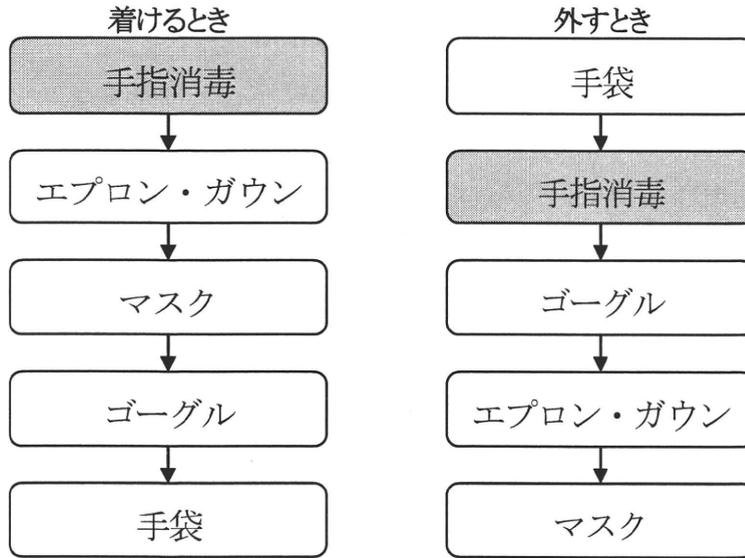
【演習】

5. 手指消毒の正しい手順と方法を経験できましたか
1□できなかった 2□あまりできなかった 3□どちらでもない
4□できた 5□よくできた
6. 石けんと流水による手洗いの正しい手順と方法を経験できましたか
1□できなかった 2□あまりできなかった 3□どちらでもない
4□できた 5□よくできた
7. PPEの正しい着脱方法を経験できましたか
1□できなかった 2□あまりできなかった 3□どちらでもない
4□できた 5□よくできた

ご協力、ありがとうございました。

PPE 使用時の注意点と正しい着脱方法

I. 正しい着脱順序



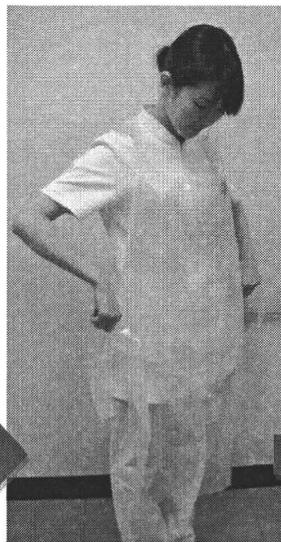
II. 正しい着脱方法

*エプロンの着け方

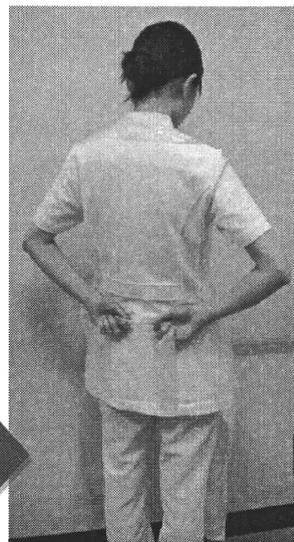
①頭にくぐらせる



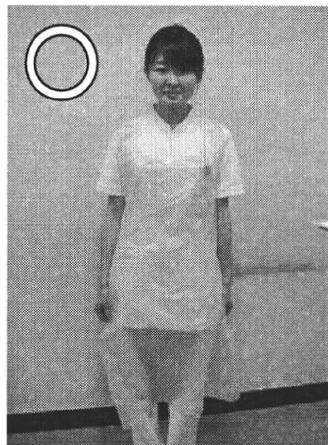
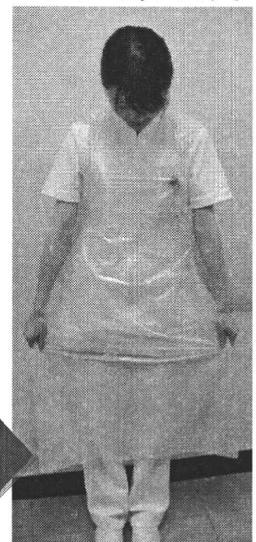
②両手で腰ひもを開き、エプロンを広げる



③紐を後ろでしっかり結ぶ



④表面にできるだけ触れないように広げる



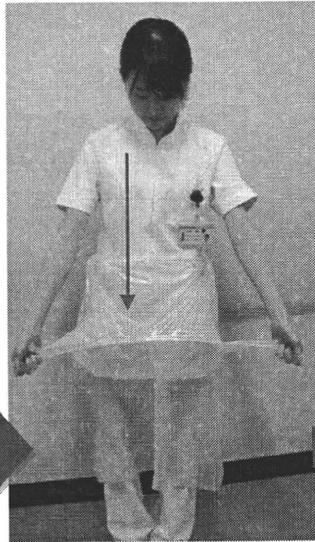
腰でしっかり紐が結ばれ
エプロンが裾まで
しっかり広がっている

*エプロンの外し方

①首の後ろの紐を引きちぎる



②上半分を前に垂らす



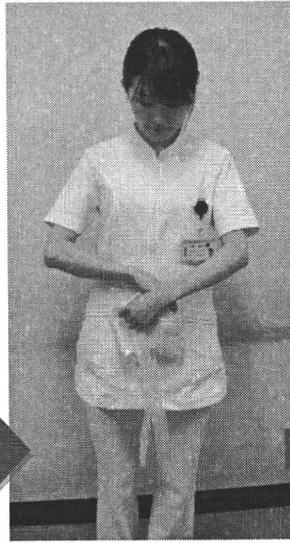
③裾を両手で持ち中表になるよう上へ折り上げる



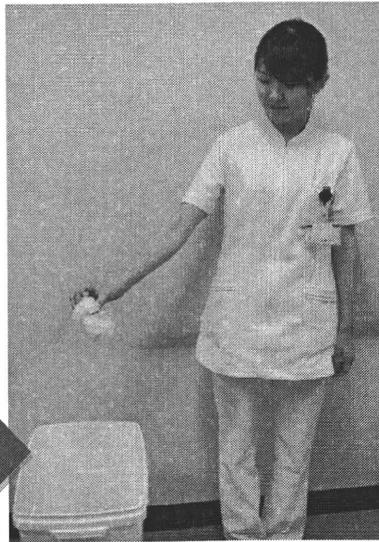
④折り上げた状態で腰ひもを引きちぎる



⑤左右から内側へ小さく折り込んで丸める

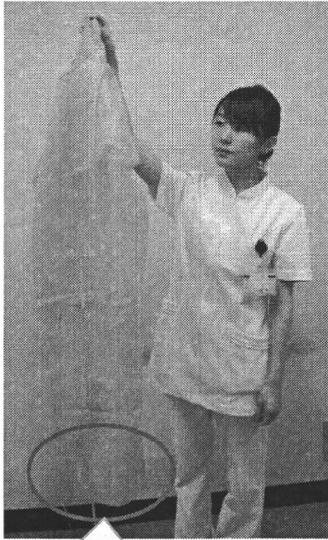


⑥小さく丸めた状態で、はみ出ないように廃棄する



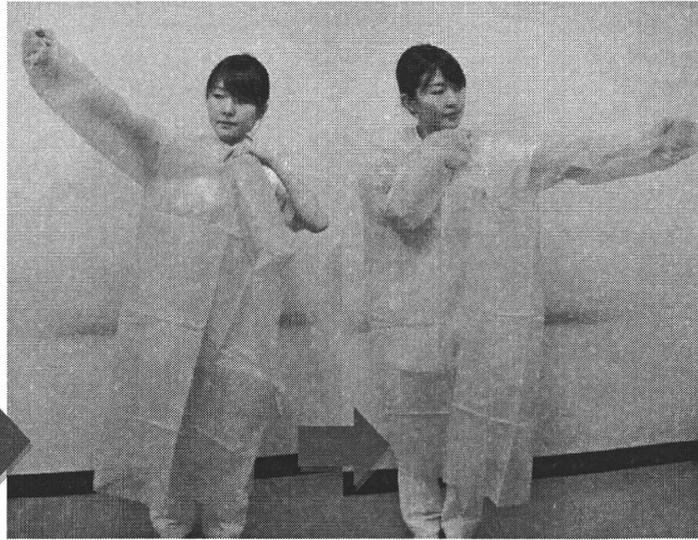
*ガウンの着け方

①ガウンの紐を持って広げる

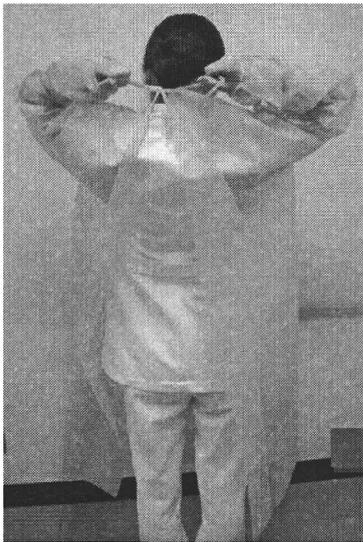


床に着かないように

②背中側を開いて、片方ずつ袖に手を通す

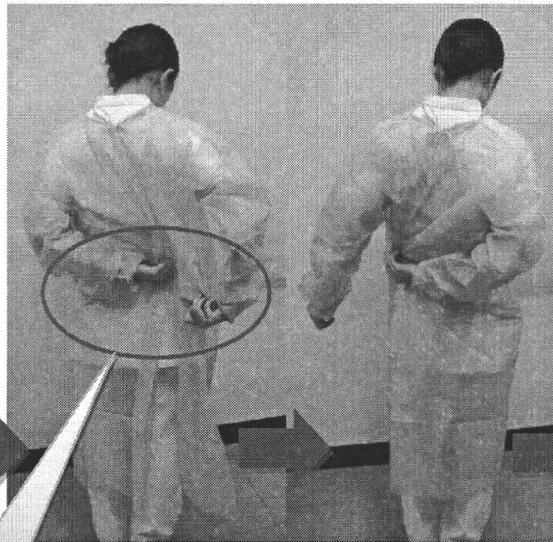


③襟ひもを結ぶ



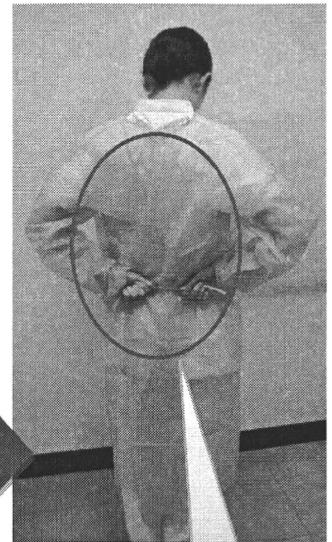
片手で押える

④背中側を十分に重ね合



十分に重ねる

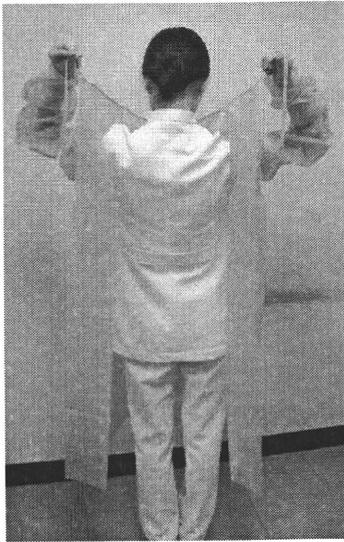
⑤背中中の部分が隠れるように、腰ひもを結ぶ



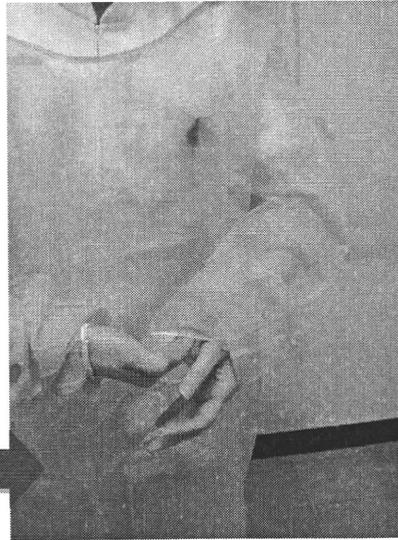
襟と腰でしっかり紐が結ばれ
前面、背面ともに
しっかり覆われている

***ガウンの外し方**

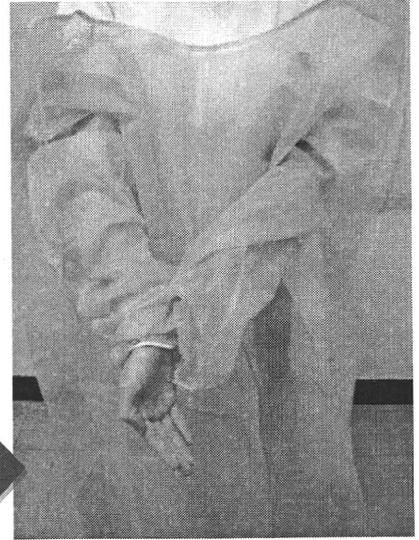
①腰ひもと襟ひもをはずす



②片方の袖の内側に
手を差し入れて腕を抜く



③反対の袖を外側からつかみ、
引いて腕を抜く



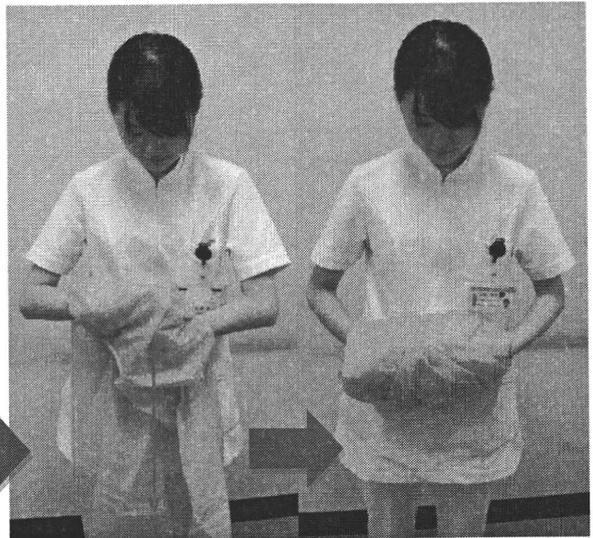
④袖の内側から
中表になるように調整する



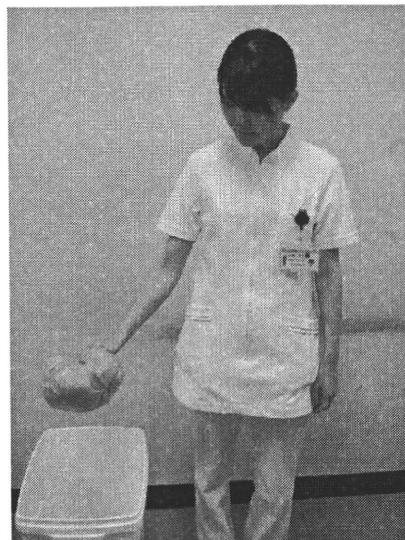
⑤中表になるように、
両腕からガウンを垂らす



⑥袖の内側から、中表になるようにガウンを巻き上げる

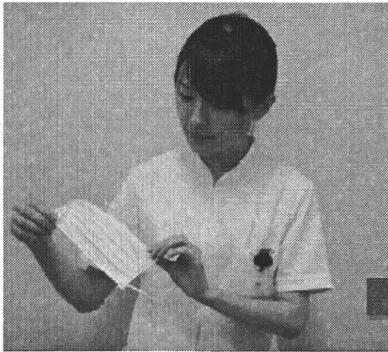


⑦ペール缶からはみ出ないように
小さく丸めた状態で、廃棄する



***マスクの着け方**

①マスクの表と裏、上と下を確認する



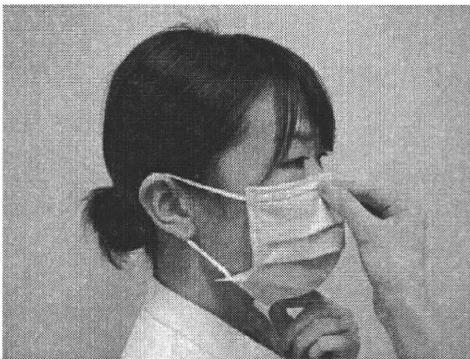
②ゴムを耳にかける



③ノーズピースを鼻の形に
しっかり折り曲げる



④鼻を押さえながらひだを伸ばし
鼻とあごをしっかり覆う



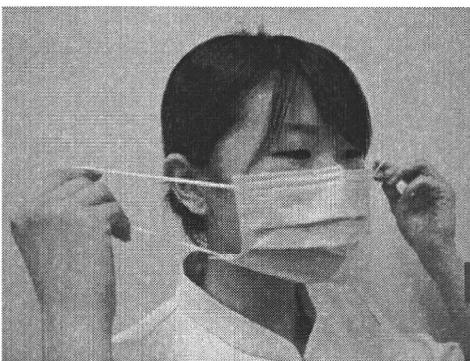
しっかり折り曲げれば
ずれ落ちません



鼻からあごまで
しっかり覆われている

***マスクの外し方**

①マスクの表面に触れないように
ゴムの部分のみをつかんではずす



②ゴムのみを持って廃棄する

